

楽しい子育て

H23.6.15 北海道教育庁宗谷教育局 発行

平成23年度家庭教育サポート企業の取組が始まります!

「家庭教育サポート企業等制度」は家庭教育を支援するための職場づくりをすすめる企業等が北海道教育委員会と協定を結び、北海道における家庭教育の一層の推進を図ることを目的としてスタートしました。今年度も企業等と北海道教育委員会、そして企業同士が手を携え、北海道の子どもたちのために様々な活動ができるようにしたいと考えております。

北海道教育委員会では、子どもたちの学力や体力の向上のために、望ましい生活習慣や学習習慣の定着を図る取組を進めてまいります。家庭教育サポート企業の皆様にも様々な面でお力添えをいただきながら、次代を担う子どもたちが夢や希望を実現できるような社会となるよう取り組んでいきたいと考えておりますので、今年度もご協力をよろしく願いいたします。

子育ての知恵袋!

北海道教育委員会では、文部科学省が発行している「家庭教育手帳」の活用など、子育てや家庭教育に関する様々な取組や関係機関情報などを掲載している「子育ての知恵袋」のホームページを公開しています。日常の子育ての場面や家庭教育事業などにも、ぜひご活用ください。

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/move/kodomo/chie_top.htm



今月の「道民家庭の日」は 6月19日(日)です。



道民家庭の日(毎月第3日曜日)は家族そろって食事を共にするなど、家族が団らんする機会を持ち、その絆(きずな)を確かなものにする日です。

皆さんも、家庭や家族のあり方や、近所の人たちとの付き合いのあり方などを考え、家庭のぬくもりやご近所とのコミュニケーションを取り戻す機会にしませんか!

「うちどく(家読)」のススメ

みなさん「うちどく」という言葉をご存じですか?

学校において実施されている「朝の読書」の広がりによって、子どもの読書量は増加傾向にあります。そこで、子どもたちの読書の習慣を家庭にも広げ、家族で感想を話し合ったり、本をすすめあうことで、家族のコミュニケーションを図ろうというのが「うちどく」です。

「うちどく」のやり方に特に決まりはありません。基本は『読んだ本について家族で話す』ということだけです。それぞれの家庭の事情に合わせて、本に関する会話を楽しんでみませんか!

家庭教育サポート企業等制度担当者紹介

宗谷教育局社会教育指導班 白形賢太郎(しらかたけんたろう)です。
4月に国立大雪青少年交流の家から赴任してまいりました。
宗谷管内の子どもたちのために取り組んでまいります。
よろしく願いします。

